政策・経常

※事務事業コード／ 0110040102

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課	事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）				
会 計	一般会計	款・項・目 100401社会教育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード	3211
事業名	02生涯学習推進事業							
目 的（成果）	市民へ生涯学習の普及を図るとともに、学習する機会を提供する。							
内 容（概要）	市民のライフステージに対応した、学習機会を提供するため各種の学校・講座・教室・発表会等を開催する。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	社会教育委員会議、社会教育指導員、社会教育主事、高齢者大学、市民ふれあい農園、市民トレッキング、美郷町小学生交流、生涯学習フェスティバル開催、マナビィー発行、市PTA連絡協議会、ちよだ太鼓、公用車管理			社会教育委員会議、社会教育指導員、社会教育主事、高齢者大学、市民ふれあい農園、市民トレッキング、美郷町小学生交流、生涯学習フェスティバル開催、マナビィー発行、市PTA連絡協議会、ちよだ太鼓、公用車管理			社会教育委員会議、社会教育指導員、社会教育主事、高齢者大学、市民ふれあい農園、市民トレッキング、美郷町小学生交流、生涯学習フェスティバル開催、マナビィー発行、市PTA連絡協議会、ちよだ太鼓、公用車管理		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		260,000
	一般財源		4,723,959	一般財源		6,630,379	一般財源		4,830,000
	計		4,723,959	計		6,630,379	計		5,090,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額 / うち臨時分
	01	報酬	1,515,000	01	報酬	3,717,500	01	報酬	1,665,000
	08	報償費	51,000	08	報償費	83,000	08	報償費	110,000
	09	旅費	193,480	09	旅費	263,920	09	旅費	267,000
	11	需用費	958,997	11	需用費	667,492	11	需用費	809,000
	12	役務費	252,558	12	役務費	163,760	12	役務費	212,000
	14	使用料及び賃借料	479,935	14	使用料及び賃借料	503,300	14	使用料及び賃借料	641,000
	19	負担金、補助及び交付金	1,259,789	19	負担金、補助及び交付金	1,224,807	19	負担金、補助及び交付金	1,370,000
	27	公課費	13,200	27	公課費	6,600	27	公課費	16,000
	決算額計		4,723,959	決算額計		6,630,379	予算現額計		5,090,000 / 0
（参考）	H24当初予算額		5,411,000	H25当初予算額		4,963,000	伸び率(%)	対・決 -23.2	対・予 2.6 +
人件費	職員人件費	1.40 人工	11,296,000	職員人件費	1.40 人工	11,283,000	職員人件費	0.95 人工	7,327,000
総事業費	歳出+職員人件費		16,019,959	歳出+職員人件費		17,913,379	歳出+職員人件費		12,417,000

【特記事項】

○25年度主な支出
社会教育指導員報酬3,500,000円
生涯学習フェスティバル補助金
789,517円

【01報酬】
・社会教育委員報酬
・社会教育指導員報酬
24年度1名⇒25年度3名
※千代田公民館への配置による
※26年度は補正により対応

【08報償費】
・謝金（高齢者大学、ふれあい農園、トレッキング事業等講師謝礼）
・25・26年度はマナビィ講座謝礼追加

【09旅費】
・職員旅費及び委員等費用弁償

【11需用費】
・各事業消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、修繕料

【12役務費】
・通信運搬費及び手数料等

【14使用料及び賃借料】
・入場料、車借上料、土地借上料、有料道路通行料等

【19負担金、補助及び交付金】
・協議会等負担金
・補助金（市P連、ちよだ太鼓、生涯学習フェス）

【27公課費】
・自動車重量税

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	生涯学習推進人材バンク登録者数	人	4月1日時点の生涯学習推進人材バンク登録者数	目標	50	50	50
				実績	47	47	
	高齢者大学開催回数	回	高齢者大学の開催回数	目標	8	8	8
				実績	8	8	
成果指標	生涯学習推進人材バンク利用件数	人	1年間の生涯学習推進人材バンク利用件数	目標	15	15	15
				実績	13	12	
	高齢者大学参加者数	人	高齢者大学への参加人数	目標	100	100	100
				実績	103	100	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□
◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☑ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】
○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

高齢化社会や余暇時代の到来により、生涯学習へのニーズが高まっており、生涯学習事業は重要な位置を占めている。

実施内容・方法の点検

- ☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□
○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要
○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	人材バンク利用件数が少ない。
次年度における対応方策（改善方策）	人材バンク利用件数を増やすため、一般市民や各種団体等に対し、人材バンクのPRを行うとともに、市関係部署に人材バンク活用の働きかけを行う。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	今までの施設を拠点とした「機会提供型の生涯学習」に加え、講師の派遣、出前講座の実施、学習機会の場や通信教育等の各種生涯学習情報を提供するなど、一人一人のテーマやライフスタイルに対応した　きめ細やかな「自ら学ぶ生涯学習」ができる体制づくりに取り組む。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	慣例的な形で継続実施している各種事業の再検証と再構築を図る。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	「学びたい」と「教えたい」という気持ちに両面からこたえられるよう、人材バンクの周知と充実に努めてください。		

政策・経常

※事務事業コード／ 0110040103

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課	事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）				
会 計	一般会計	款・項・目 100401社会教育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード	3311
事業名	03青少年育成事業							
目 的（成果）	次世代を担う青少年の豊かな感性、社会性、創造性を培い青少年の健全育成を図る。							
内 容（概要）	異年齢や同年齢の子ども同士の遊びや多様な地域活動、自然とのふれあい、青少年団体への活動支援、ボランティア活動など							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	青少年相談員活動、成人式、家庭の教育力充実事業、子ども会育成連合会、ボーイスカウト、ガールスカウト			青少年相談員活動、成人式、家庭の教育力充実事業、子ども会育成連合会、ボーイスカウト、ガールスカウト			青少年相談員活動、成人式、家庭の教育力充実事業、子ども会育成連合会、ボーイスカウト、ガールスカウト		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		
	一般財源		4,132,448	一般財源		4,187,834	一般財源		4,380,000
	計		4,132,448	計		4,187,834	計		4,380,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	01	報酬	1,194,328	01	報酬	1,200,000	01	報酬	1,200,000	
	08	報償費	412,000	08	報償費	401,000	08	報償費	463,000	
	09	旅費	159,900	09	旅費	217,800	09	旅費	320,000	
	11	需用費	43,812	11	需用費	32,131	11	需用費	49,000	
	12	役務費	81,920	12	役務費	84,520	12	役務費	89,000	
	13	委託料	1,324,088	13	委託料	1,344,983	13	委託料	1,350,000	
	19	負担金、補助及び交付金	916,400	19	負担金、補助及び交付金	907,400	19	負担金、補助及び交付金	909,000	
	決算額計		4,132,448	決算額計		4,187,834	予算現額計		4,380,000	0
（参考）	H24当初予算額		4,469,000	H25当初予算額		4,348,000	伸び率(%)	対・決 4.6	対・予	0.7 +
人件費	職員人件費	1.20 人工	9,682,000	職員人件費	1.30 人工	10,477,000	職員人件費	1.15 人工		8,869,000
総事業費	歳出+職員人件費		13,814,448	歳出+職員人件費		14,664,834	歳出+職員人件費			13,249,000

【特記事項】

○25年度主な支出
青少年相談員報酬1,200,000円
家庭の教育力充実事業委託
1,344,983円

【01報酬】
・青少年相談員報酬
【08報償費】
・成人式謝礼及び記念品
【09旅費】
・職員旅費及び委員等費用弁償
【11需用費】
・消耗品費（成人式及びつり大会）
・食糧費（成人式お茶代等）
【12役務費】
・通信運搬費
【13委託料】
・家庭の教育力充実事業
【19負担金、補助及び交付金】
・各協議会等負担金
・補助金（子ども会育成連合会、ボーイスカウト、ガールスカウト事業活動費）

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	青少年相談員巡回活動	回	青少年相談員による巡回指導回数	目標	22	22	22
				実績	23	47	
	子育てひろばネットワーカー会議	回	事業開催にかかる企画会議	目標	8	8	8
				実績	8	8	
成果指標	青少年相談員巡回活動参加者数	件／年	巡回指導活動を行った相談員の数（市内巡回等）	目標	150	170	170
				実績	209	195	
	子育てひろば年間参加者数	人／年	事業の参加者数	目標	800	850	850
				実績	906	739	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】☐
◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

活動指標及び成果指標に掲げた目標は達成し、新たに試みた青色パトロール

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☑ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】
○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

青少年相談員巡回指導時には、目立った非行活動をする者は見受けられなかった。子育てひろばにおいては、外の事業計画で悪天候があって中止となり目標参加者数を下回った。子育てに対する保護者の意識をもっと持っていただくように推進を図る。

実施内容・方法の点検

- ☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】☐
○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要
○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

青少年相談員巡回指導時の相談員の声かけや街頭でのかかわり方など資質向上。子育てひろばにおける保護者からのニーズの把握。

■課題と対応方策

課題	事務局としての青少年育成団体とのかかわり方
次年度における対応方策（改善方策）	補助や委託を受けている団体は、自主運営が原則であることから、事務局としては側面からの支援に徹し、団体の自立を促す。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	市と団体、それぞれの役割を明確にし、市民協働の精神で事業を展開していく。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】			
評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	◉ このまま継続　○ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	市子連については、役員が固定化しているので、事務局としても、新しい人材の発掘・確保に協力をする。		

二次評価【部長評価】			
部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	各団体の運営をとおして市の施策を実現しているという面で、企画・運営サイドの人材の確保・充実が極めて重要です。		

※事務事業コード／ 0110040104

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課		事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目	100401社会教育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード 5212
事業名	04女性団体行政事業							
目 的（成果）	女性の自発的な活動を通して自己の資質の向上と女性団体の相互の連携を図り、地域社会の発展に寄与する。							
内 容（概要）	女性団体を支援し、事務局としてサポートする。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	地域女性団体連絡会、女性団体代表者連絡協議会支援			地域女性団体連絡会、女性団体代表者連絡協議会支援			地域女性団体連絡会、女性団体代表者連絡協議会支援		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		
	一般財源		700,000	一般財源		700,000	一般財源		700,000
	計		700,000	計		700,000	計		700,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	19	負担金、補助及び交付金	700,000	19	負担金、補助及び交付金	700,000	19	負担金、補助及び交付金	700,000	
	決算額計		700,000	決算額計		700,000	予算現額計		700,000	0
（参考）	H24当初予算額		700,000	H25当初予算額		700,000	伸び率(%)	対・決 0.0	対・予	0
人件費	職員人件費	0.60 人工	4,841,000	職員人件費	0.70 人工	5,641,000	職員人件費	0.80 人工	6,170,000
総事業費	歳出+職員人件費		5,541,000	歳出+職員人件費		6,341,000	歳出+職員人件費		6,870,000

【特記事項】

○25年度主な支出
女性団体活動推進費補助金
700,000円

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	地域女性団体連絡会地区女性会数	団体	地域女性団体連絡会構成地区女性団体数	目標	8	8	8
				実績	8	47	
	女性団体代表者連絡協議会単位女性団体数	団体	女性団体代表者連絡協議会構成単位女性団体数	目標	24	24	24
				実績	24	23	
成果指標	地域女性団体連絡会年間事業参加者数	人	地域女性団体連絡会が主催・参加した事業における参加者数	目標	800	800	800
				実績	821	1,277	
	女性団体代表者連絡協議会年間事業参加者数	人	女性団体代表者連絡協議会が主催・参加した事業における参加者数	目標	600	600	600
				実績	784	731	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□
◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞
かすみがうらマラソン大会時のボランティア活動などは大会運営上必要不可欠であり、今後もこの活動が継続させる必要がある。

目標達成状況の点検

- ☐ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☑ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】
○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞
地女連や代表者連絡協議会の活動も重要だが、それぞれの下部組織の活動も成果を上げており今後も継続して活動を後押ししたい。

実施内容・方法の点検

- ☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□
○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要
○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞
男女共同参画の観点から必要な事業ではあり、地域に密着した自主事業の拡大や新規加入者の増加を図る

■課題と対応方策

課題	今は、主に講座・研修会などの自己啓発や地域ボランティアなどの活動をしているが、もっと踏み込んだ形で、自ら問題意識を持って、市民協働の実践に取り組んでほしい。
次年度における対応方策（改善方策）	今年度は、女性団体代表者連絡協議会が主催する「女性の視点からの防災」をテーマとした講演会や研修会を支援する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	男女共同参画担当課（政策秘書課）と連携し、両団体を、男女共同参画社会実現のための一翼を担ってもらえるような団体に育成していく。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	◉ このまま継続　○ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	単なるボランティア組織ではなく、市民協働、地域づくりの担い手として活躍してもらえるよう育成、支援していく。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	男女共同参画に対する市民の関心と理解を深める取り組みが重要です。		

※事務事業コード／ 0110040105

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課		事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目	100401社会教育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード 3311
事業名	05放課後子ども教室推進事業							
目 的（成果）	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。							
内 容（概要）	県より補助を受け、新治小学校において放課後子ども教室推進事業を展開している。他の小学校等は放課後児童クラブを実施。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	年10回の体験活動事業を開催			年10回の体験活動事業を開催			年10回の体験活動事業を開催		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金		80,000	県支出金		98,000	県支出金		162,000
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		20,000
	一般財源		101,881	一般財源		144,921	一般財源		109,000
	計		181,881	計		242,921	計		291,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	08	報償費	139,400	08	報償費	166,480	08	報償費	181,000	
	11	需用費	32,981	11	需用費	68,091	11	需用費	90,000	
	12	役務費	9,500	12	役務費	8,350	12	役務費	20,000	
	決算額計		181,881	決算額計		242,921	予算現額計		291,000	0
（参考）	H24当初予算額		343,000	H25当初予算額		291,000	伸び率(%)	対・決 19.8	対・予	0
人件費	職員人件費	0.80 人工	6,455,000	職員人件費	0.80 人工	6,447,000	職員人件費	0.55 人工		4,241,000
総事業費	歳出+職員人件費		6,636,881	歳出+職員人件費		6,689,921	歳出+職員人件費			4,532,000

【特記事項】

○25年度主な支出
安全管理人等謝礼166,480円

【08報償費】
・謝礼（放課後子ども教室子ども教室運営委員、安全管理人、学習アドバイザー等）
【11需用費】
・消耗品費（事業消耗品費）
・燃料費
【12役務費】
・保険料（子ども教室保険料等）

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	安全管理人研修	回	子ども達を預かる安全管理人の資質向上を図るため研修会の開催参加。	目標	2	2	2
				実績	2	47	
	年間教室開催数	回	放課後子ども教室の年間開催数	目標	10	10	10
				実績	10	10	
成果指標	参加者人数	人	放課後子ども教室の年間の参加者数	目標	160	160	160
				実績	157	151	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□

◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

核家族化が進む中、小学生の放課後を有効に活用し、家族とのコミュニケーションの場の提供を行う

目標達成状況の点検

- ☐ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☑ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】

○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた

○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

管理人の研修参加及び開催回数や参加人数等当初の計画通りに進んだ

実施内容・方法の点検

- ☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□

○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要

○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

毎年事業の内容に変化が余りないため、内容の検討を行いないながら事業の実施を図る必要がある

■課題と対応方策

課題	安全管理人の質的向上と講師の確保及び事業の拡大（他校での事業展開）
次年度における対応方策（改善方策）	安全管理人を放課後子どもプラン研修会へ参加させ、質的向上を図る。また、人材バンクを活用し、講師の安定確保に努める。合わせて他校で事業が展開できるよう、同様の事業を実施している団体等に事業の紹介と働きかけを行う。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	現在、職員が担っている事業コーディネーター（事業を企画運営者）を、市民の中から発掘、確保し、「地域の子供は地域で育てる。」という事業本来の趣旨に基づいた形で事業展開できるよう努める。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	事業内容の充実に努めると同時に、他校での事業展開の可能性を探る。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	新治小学校での知見を生かすとともに、地域が主体性をもって運営できる体制づくりを進めてください。		

※事務事業コード／ 0110050102

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課	事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目 100501保健体育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード 3216
事業名	02かすみがうらマラソン大会開催事業						
目 的（成果）	マラソン大会を通して、地域住民と参加者との交流・親睦、参加者の健康増進、生涯スポーツの普及振興を図るとともに、大会名にもなっている「霞ヶ浦」の水質浄化を中心とした環境問題の意識の啓発及び福祉の充実を図る。						
内 容（概要）	補助金を交付し土浦市との共催事業として大会を運営する。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会であるとともに、国際視聴障害者スポーツ協会公認大会ともなっており、正式名称は「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会」となっている。						

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	第22回大会は27,353人がエントリー 種目数は93種目、盲人や車いすを含み、フルマラソン、10マイル、5キロの大会実施 ゴミにならないハンドタオル配布、盲導犬の育成助成など環境と福祉への取り組み実施			第23回大会は27,109人がエントリー 種目数は93種目、盲人や車いすを含み、フルマラソン、10マイル、5キロの大会実施 ゴミにならないハンドタオル配布、盲導犬の育成助成など環境と福祉への取り組み実施			第24回大会は27,270人がエントリー 種目数は93種目、盲人や車いすを含み、フルマラソン、10マイル、5キロの大会実施 ゴミにならないハンドタオル配布、盲導犬の育成助成など環境と福祉への取り組み実施		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		
	一般財源		3,000,000	一般財源		3,000,000	一般財源		3,000,000
	計		3,000,000	計		3,000,000	計		3,000,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	19	負担金、補助及び交付金	3,000,000	19	負担金、補助及び交付金	3,000,000	19	負担金、補助及び交付金	3,000,000	
	決算額計		3,000,000	決算額計		3,000,000	予算現額計		3,000,000	0
（参考）	H24当初予算額		3,000,000	H25当初予算額		3,000,000	伸び率(%)	対・決 0.0	対・予	0
人件費	職員人件費	0.60 人工	4,841,000	職員人件費	0.40 人工	3,223,000	職員人件費	0.47 人工		3,624,000
総事業費	歳出+職員人件費		7,841,000	歳出+職員人件費		6,223,000	歳出+職員人件費			6,624,000

【特記事項】

【19負担金補助金】
・かすみがうらマラソン実行委員会へ運営補助金3,000,000円
（参考～土浦市補助金1,500万円）

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	エントリー者数	人	エントリーした人数	目標	25,000	25,000	27,000
				実績	27,353	27,109	
				目標			
				実績			
成果指標	参加者数	人	当日参加した人数	目標	21,000	21,000	21,000
				実績	22,162	18,102	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□

◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

全国レベルでも知名度も上昇し、身障者の参加するマラソンとしては全国1位の大会となっている。

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☑ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】

○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた

○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

エントリー数が目標を上回り、マラソンに対する注目度は上昇している。

実施内容・方法の点検

- ☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□

○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要

○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

大会の規模や特性上、かすみがうら市の知名度を全国的に知らしめる要素も大きいと思われる。土浦市との連携を今後も密にし、開催をより、メジャー化し安定させたい。

■課題と対応方策

課題	市民の関心度も高くボランティア参加の市民も多くいるが、交通規制等のトラブルが多少なりともある。
次年度における対応方策（改善方策）	交通規制に関する情報周知を行う。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	大会における交通規制の認識を広く一般住民に与えることにより参加者の安全確保及び円滑な大会運営を図る。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	◉ このまま継続　○ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	現状どおり実施。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	対外的な知名度向上と併せ、市民の理解を深め、支援の意欲を高めてもらうようPRに努めてください。		

政策・経常

※事務事業コード／ 0110050103

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課	事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）				
会 計	一般会計	款・項・目 100501保健体育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード	3216
事業名	03市民ふれあいスポーツ推進事業							
目 的（成果）	子供から高齢者までスポーツレクリエーション活動の場を提供し、市民の体力・健康づくりを推進する。							
内 容（概要）	市民ふれあいスポーツフェア、市民マラソン大会、各種スポーツ教室等を開催する。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算	
事業内容	市民ふれあいスポーツフェア2012（生涯学習フェスティバルと同時開催）、第8回市民マラソン大会、水泳教室、ふれあいサイクリング（恋瀬川）、カヌー教室（海洋クラブに委託）		市民ふれあいスポーツフェア2013、第9回市民マラソン大会、水泳教室、ふれあいサイクリング（恋瀬川）、健康ウォーキング大会、カヌー教室（海洋クラブに委託）		ふれあいスポーツフェア2014（生涯学習フェスティバルと同時開催）、10回市民マラソン大会、水泳教室、ふれあいサイクリング（恋瀬川）、カヌー教室（海洋クラブに委託）	
財源内訳	国庫支出金				国庫支出金	
	県支出金		県支出金		県支出金	
	市債		市債		市債	
	その他		その他		その他	140,000
	一般財源	4,433,432	一般財源	4,223,288	一般財源	4,149,000
	計	4,433,432	計	4,223,288	計	4,289,000

歳出内訳

節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
08	報償費	1,951,405	08	報償費	1,802,325	08	報償費	1,804,000	
09	旅費	67,860	09	旅費	50,800	09	旅費	95,000	
11	需用費	906,567	11	需用費	885,028	11	需用費	830,000	
12	役務費	243,000	12	役務費	286,935	12	役務費	320,000	
13	委託料	500,000	13	委託料	500,000	13	委託料	500,000	
19	負担金、補助及び交付金	738,000	14	使用料及び賃借料	0	19	負担金、補助及び交付金	670,000	
27	公課費	26,600	19	負担金、補助及び交付金	665,000	27	公課費	70,000	
			27	公課費	33,200				
決算額計		4,433,432	決算額計		4,223,288	予算現額計		4,289,000	0
（参考）	H24当初予算額	4,675,000	H25当初予算額		4,524,000	伸び率(%)	対・決 1.6	対・予	−5.2 −
人件費	職員人件費 0.80 人工	6,455,000	職員人件費 0.70 人工		5,641,000	職員人件費 0.57 人工			4,396,000
総事業費	歳出+職員人件費	10,888,432	歳出+職員人件費		9,864,288	歳出+職員人件費			8,685,000

【特記事項】

○25年度主な支出
学校施設開放管理人謝礼 1,008,000円
各種大会参加賞・記念品代 699,325円
スポレク祭事業委託3,000,000円
海洋クラブ運営委託2,000,000円

【08報償費】
・学校施設開放管理人謝礼
・各種大会（ふれスポフェア、市民マラソン等）記念品
・スポーツ教室講師謝礼
【09旅費】
・職員普通旅費（B＆G研修等）
【11需用費】
・消耗品費、食糧費（ふれスポフェア、市民マラソン等）
・修繕費（バン・トラック等）
【12役務費】
・手数料（車検時等）
・保険料（スポーツ大会行事等）
【13委託料】
・スポレク祭事業委託
・海洋クラブ運営委託
【19負担金補助金】
・負担金（恋瀬川サイクリング他）
【27公課費】
・自動車重量税（トラック、バン）

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	市民ふれあいスポーツフェア・市民マラソン大会及び教室等大会開催延べ回数	回／年	市主催の大会やスポーツフェアの開催回数	目標	11	11	
				実績	15	15	
				目標			
				実績			
成果指標	市民ふれあいスポーツフェア参加者数	人	参加人数	目標	1,500	1,500	
				実績	1,326	1,483	
	市民マラソン大会参加者数	人	参加人数	目標	1,000	800	
				実績	718	800	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□

◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

市民の健康増進や体力づくりの手助けとなるよう、各種事業を展開し、日常的にスポーツを楽しむ機会を確保する。

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】

○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた

○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

市民に広く運動をするきっかけ作りの一つとして、より、注目と参加意識を高める工夫が必要。

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□

○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要

○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

総合型スポーツクラブなどの市民団体との連絡協同を意識し、広い層の市民に運動の機会を作る。

■課題と対応方策

課題	市民の興味関心を集め、より多くの参加者を目指す。
次年度における対応方策（改善方策）	周知方法の見直しを行い、広く周知を行う。また、各スポーツ団体、スポーツ推進員などの協力をもとに、告知などを通しての参加者の拡充を図る。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	広報誌やホームページなどを始め多様な周知方法を検討し参加しやすい環境をつくる。新しい参加者層の開拓をする。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	市民の健康寿命の延伸という高い志の下、総合型スポーツクラブや海洋クラブ等と連携を深め、多くの市民がそれぞれの目的に応じ、様々なスポーツに触れ合うことができるよう、機会の提供の拡充に努める。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	健康づくりの推進を基軸に、他の部門との連携を進めてください。		

政策・経常

※事務事業コード／ 0110050105

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課	事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目 100501保健体育総務費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	共催	総合計画コード 3218
事業名	05スポーツ団体育成事業						
目 的（成果）	生涯スポーツの振興には、生涯スポーツ関係団体の役割が大きく、スポーツ振興のため市民に対し実技指導やその他スポーツに関する指導助言を行い、各団体会員の育成、健康増進、競技力の向上を図り、団体の健全育成を目指す。						
内 容（概要）	体育協会加盟団体は市長杯大会及び各種大会の開催、各事業への協力及びスポーツ少年団の健全育成の支援、またスポーツ推進委員の育成を図ることにより、新たな競技種目の発展と市民スポーツ活動の機会を高める。						

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	各団体主催の大会への協力・支援 市主催事業への参加協力の働きかけ スポーツ少年団市長杯の開催			各団体主催の大会への協力・支援 市主催事業への参加協力の働きかけ スポーツ少年団市長杯の開催			各団体主催の大会への協力・支援 市主催事業への参加協力の働きかけ スポーツ少年団市長杯の開催			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他			
	一般財源		4,905,460	一般財源		4,928,950	一般財源		5,162,000	
	計		4,905,460	計		4,928,950	計		5,162,000	
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	01	報酬	375,000	01	報酬	570,000	01	報酬	578,000	
	09	旅費	249,560	09	旅費	79,850	09	旅費	117,000	
	13	委託料	500,000	13	委託料	500,000	13	委託料	500,000	
	14	使用料及び賃借料	35,000	19	負担金、補助及び交付金	3,779,100	19	負担金、補助及び交付金	3,967,000	
	19	負担金、補助及び交付金	3,745,900							
	決算額計		4,905,460	決算額計		4,928,950	予算現額計		5,162,000	0
（参考）	H24当初予算額		5,357,000	H25当初予算額		5,232,000	伸び率(%)	対・決 4.7	対・予 -1.3	-
人件費	職員人件費	0.80 人工	6,455,000	職員人件費	0.60 人工	4,835,000	職員人件費	0.62 人工		4,781,000
総事業費	歳出+職員人件費		11,360,460	歳出+職員人件費		9,763,950	歳出+職員人件費			9,943,000

【特記事項】

○25年度主な支出
体育協会補助金 3,632,000円
スポーツ推進員報酬 570,000円
スポーツ少年団球技大会委託 500,000円

【01報酬】
・スポーツ推進員報酬
【09旅費】
・委員等旅費（関東スポーツ推進委員研究大会）
【13委託料】
・スポーツ少年団市長杯委託
【19負担金補助金】
・協議会等負担金
・補助金（体育協会、スポ少県大会出場）

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	スポーツ推進委員数	人	条例定数26人	目標	26	26	26
				実績	24	26	
	少年団及び体協加盟団体市長杯大会数	回／年	少年団29団体・体協加盟団体22団体（少年団を含む）	目標	14	14	14
				実績	14	14	
成果指標	スポーツ推進委員活動人数	人／年	活動の延べ人数	目標	170	170	170
				実績	169	185	
	少年団及び体協加盟団体市長杯大会参加チーム数	チーム／年	参加チーム数（他市チーム含む、ゴルフ大会は団体戦のみ含む、ゴルフ個人・弓道は除く。）	目標	200	200	
				実績	183	181	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□

◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

市民の健康増進や体力づくりの手助けとなるよう、各種事業を展開し、日常的にスポーツを楽しむ機会を確保する。

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】

○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた

○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

各スポーツ団体が自主運営により活動を行っている。

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□

○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要

○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	スポーツ推進委員を有効的に活用し、スポーツイベント参加者増を目指し、市民の健康と体力の増強を図る。
次年度における対応方策（改善方策）	スポーツ推進委員が中心となって誰もが気軽に参加できるようなスポーツ行事を考案し、実行する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	継続的にスポーツイベントを開催し、参加者を拡充する。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	スポーツ推進委員の役割を明確にし、市のスポーツ振興の一翼を担ってもらえる体制づくりに取り組む。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	スポーツ推進委員を中心に、多様なニーズを捉えスポーツ人口の拡大を目指してください。		

※事務事業コード／ 0110050202

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課		事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目	100502体育施設管理費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3217
事業名	02体育センター管理運営事業							
目 的（成果）	幅広い年齢層にわたる利用者が、気軽に、公平に、安心して利用できる運営体制を図るとともに、施設を良好な機能で保持する為に維持管理等を図る。							
内 容（概要）	市民がスポーツを気軽に楽しめるよう、施設の利用予約システムの周知や登録を促すとともに、利用者が安心して施設を利用できるよう適正な施設の維持管理や施設周辺の環境整備を行う。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	施設の維持管理運営業務。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		280,000
	一般財源		1,365,025	一般財源		2,254,439	一般財源		2,384,000
	計		1,365,025	計		2,254,439	計		2,664,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額 / うち臨時分
	11	需用費	1,059,118	11	需用費	2,054,165	11	需用費	2,450,000
	12	役務費	37,108	12	役務費	36,528	12	役務費	40,000
	13	委託料	200,399	13	委託料	95,346	13	委託料	103,000
	14	使用料及び賃借料	68,400	14	使用料及び賃借料	68,400	14	使用料及び賃借料	71,000
	決算額計		1,365,025	決算額計		2,254,439	予算現額計		2,664,000 / 0
（参考）	H24当初予算額		1,362,000	H25当初予算額		2,371,000	伸び率(%)	対・決 18.2	対・予 12.4 +
人件費	職員人件費	0.10 人工	806,000	職員人件費	0.10 人工	805,000	職員人件費	0.17 人工	1,311,000
総事業費	歳出+職員人件費		2,171,025	歳出+職員人件費		3,059,439	歳出+職員人件費		3,975,000

【特記事項】

○25年度主な支出
光熱水費 1,026,457円
修繕料 1,018,500円

【11需用費】
・消耗品費（管理用）
・光熱水費
・修繕料
（24年度～駐車場外灯修理、体育センター玄関ドア鍵交換等）
（25年度～カーテン、仕切りネット等）
（26年度～カーテン、誘導灯他）
【12役務費】
・電話料（機械警備通信料）
【13委託料】
・委託料（消防設備点検、機械警備等）
【14使用料賃借料】
・清掃用具等借り上げ料

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	25	25	26
				実績	25	25	
				目標			
				実績			
成果指標	施設に対する苦情数	人／年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績	0	0	
	施設の利用者数	人／年	施設の利用者数	目標	10,000	10,000	10,000
				実績	6,431	12,230	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□

◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

市民の健康増進や体力づくりの手助けとなるよう、各種事業を展開し、日常的にスポーツを楽しむ機会を確保する。

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】

○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた

○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

各スポーツ団体が自主運営により活動を行っている。

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□

○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要

○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	施設の老朽化が目立ち計画的な修繕が必要。
次年度における対応方策（改善方策）	修繕箇所を確認し、計画的に修繕する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	施設の修繕計画を作成し、FMシステムと連動した施設の維持管理を行う。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	利用者がそれぞれの目的応じて、快適にスポーツに取り組んでもらえるよう、施設の更なる質的向上に努める。また、業者委託による体育施設の一括管理が上手く機能していくよう業者に対し適正な指導をする。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	効果的、効率的な修繕計画の策定に取り組んでください。		

※事務事業コード／ 0110050203

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課		事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目	100502体育施設管理費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3217
事業名	03わかぐり運動公園管理運営事業							
目 的（成果）	幅広い年齢層にわたる利用者が、気軽に、公平に、安心して利用できる運営体制を図るとともに、施設を良好な機能で保持する為に維持管理等を図る。							
内 容（概要）	市民がスポーツを気軽に楽しめるよう、施設の利用予約システムの周知や登録を促すとともに、利用者が安心して施設を利用できるよう適正な施設の維持管理や施設周辺の環境整備を行う。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務（一括管理委託等）。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		2,042,000
	一般財源		21,908,308	一般財源		21,208,033	一般財源		16,428,000
	計		21,908,308	計		21,208,033	計		18,470,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	11	需用費	2,010,498	11	需用費	2,277,429	11	需用費	2,269,000	
	12	役務費	102,596	12	役務費	166,746	12	役務費	186,000	
	13	委託料	9,316,584	13	委託料	11,277,396	13	委託料	9,518,000	
	14	使用料及び賃借料	5,842,990	14	使用料及び賃借料	5,841,862	14	使用料及び賃借料	5,846,000	
	15	工事請負費	4,032,000	15	工事請負費	735,000	16	原材料費	15,000	
	16	原材料費	12,500	16	原材料費	15,000	18	備品購入費	636,000	
	22	補償補填及び賠償金	591,140	18	備品購入費	894,600				
	決算額計		21,908,308	決算額計		21,208,033	予算現額計		18,470,000	0
（参考）	H24当初予算額		22,317,000	H25当初予算額		20,310,000	伸び率(%)	対・決 -12.9	対・予 -9.1	-
人件費	職員人件費	0.10 人工	806,000	職員人件費	0.10 人工	805,000	職員人件費	0.20 人工		1,542,000
総事業費	歳出+職員人件費		22,714,308	歳出+職員人件費		22,013,033	歳出+職員人件費			20,012,000

【特記事項】

○25年度主な支出
施設管理委託 10,966,200円
土地借上げ料 5,759,680円

【11需用費】
・消耗品費（管理用）
・光熱水費
・修繕料
（24年度～テニスコートネット、トイレ漏水修理等）
（25年度～屋外トイレ修理、人工芝テニスコート修繕等）
（26年度～バスケットライン他）
【12役務費】
・電話料
・手数料（浄化槽等）
【13委託料】
・委託料（施設管理、電気工作物保守等）
【14使用料賃借料】
・使用料等（土地借上げ料、清掃用具等借り上げ料等）
【16原材料費】
・グランド用砂
【18備品購入費】
（25年度～屋外ソーラー時計、管理人用エアコン）
（26年度～移動式テント（4張））

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	24	24	26
				実績	24	24	
				目標			
				実績			
成果指標	施設に対する苦情数	人／年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績	0		
	施設の利用者数	人／年	施設の利用者数	目標	40,000	40,000	40,000
				実績	36,086	38,658	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□
◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】
○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

施設確認を計画的に行い、一括管理業者に指示及び協議を行ったため、芝生が生き返った。

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□
○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要
○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	施設の老朽化が目立ち計画的な修繕が必要。
次年度における対応方策（改善方策）	修繕箇所を確認し、計画的に修繕する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	施設の修繕計画を作成し、FMシステムと連動した施設の維持管理を行う。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	利用者がそれぞれの目的応じて、快適にスポーツに取り組んでもらえるよう、施設の更なる質的向上に努める。また、業者委託による体育施設の一括管理が上手く機能していくよう業者に対し適正な指導をする。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	効果的、効率的な修繕計画の策定に取り組んでください。		

※事務事業コード／ 0110050204

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課		事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目	100502体育施設管理費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3217
事業名	04多目的運動広場管理運営事業							
目 的（成果）	幅広い年齢層にわたる利用者が、気軽に、公平に、安心して利用できる運営体制を図るとともに、施設を良好な機能で保持する為に維持管理等を図る。							
内 容（概要）	市民がスポーツを気軽に楽しめるよう、施設の利用予約システムの周知や登録を促すとともに、利用者が安心して施設を利用できるよう適正な施設の維持管理や施設周辺の環境整備を行う。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務（一括管理委託等）。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		1,226,000
	一般財源		23,738,004	一般財源		25,162,559	一般財源		21,849,000
	計		23,738,004	計		25,162,559	計		23,075,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額 / うち臨時分
	11	需用費	3,962,936	11	需用費	3,632,651	11	需用費	3,827,000
	12	役務費	81,812	12	役務費	75,190	12	役務費	92,000
	13	委託料	11,127,950	13	委託料	13,539,359	13	委託料	11,149,000
	14	使用料及び賃借料	8,118,751	14	使用料及び賃借料	7,870,359	14	使用料及び賃借料	7,992,000
	16	原材料費	12,500	16	原材料費	15,000	16	原材料費	15,000
	18	備品購入費	58,800	18	備品購入費	30,000			
	22	補償補填及び賠償金	375,255						
	決算額計		23,738,004	決算額計		25,162,559	予算現額計		23,075,000 / 0
（参考）	H24当初予算額		23,213,000	H25当初予算額		25,437,000	伸び率(%)	対・決 -8.3	対・予 -9.3 －
人件費	職員人件費	0.10 人工	806,000	職員人件費	0.10 人工	805,000	職員人件費	0.20 人工	1,542,000
総事業費	歳出+職員人件費		24,544,004	歳出+職員人件費		25,967,559	歳出+職員人件費		24,617,000

【特記事項】

○25年度主な支出
施設管理委託 13,227,900円
土地借上げ料 7,856,577円

【11需用費】
・消耗品費（管理用）
・燃料費（灯油等）
・光熱水費
・修繕料
（24年度～テニスコート照明等）
（25年度～テニスコート修繕等）
（26年度～テニスコート照明等）
【12役務費】
・電話料
・保険料
【13委託料】
・各委託料（施設管理、電気工作物保守、機械警備）
【14使用料賃借料】
・土地借上料他
【16原材料費】
・テニスコート用焼砂

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	25	25	26
				実績	25	25	
				目標			
				実績			
成果指標	施設に対する苦情数	人／年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績	0	0	
	施設の利用者数	人／年	施設の利用者数	目標	25,000	25,000	25,000
				実績	15,203	23,546	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□
◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】
○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

施設確認を計画的に行い、一括管理業者に指示及び協議を行ったため、芝生が生き返った

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□
○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要
○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	施設の老朽化が目立ち計画的な修繕が必要。
次年度における対応方策（改善方策）	修繕箇所を確認し、計画的に修繕する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	施設の修繕計画を作成し、FMシステムと連動した施設の維持管理を行う。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	利用者がそれぞれの目的応じて、快適にスポーツに取り組んでもらえるよう、施設の更なる質的向上に努める。また、業者委託による体育施設の一括管理が上手く機能していくよう業者に対し適正な指導をする。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	効果的、効率的な修繕計画の策定に取り組んでください。		

※事務事業コード／ 0110050205

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課		事業年度期限	○無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目	100502体育施設管理費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3217
事業名	05戸沢公園運動広場管理運営事業							
目 的（成果）	幅広い年齢層にわたる利用者が、気軽に、公平に、安心して利用できる運営体制を図るとともに、施設を良好な機能で保持する為に維持管理等を図る。							
内 容（概要）	市民がスポーツを気軽に楽しめるよう、施設の利用予約システムの周知や登録を促すとともに、利用者が安心して施設を利用できるよう適正な施設の維持管理や施設周辺の環境整備を行う。							

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算		
事業内容	施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。			施設の維持管理運営業務（一括管理委託等）施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		82,000
	一般財源		5,979,049	一般財源		6,926,177	一般財源		7,604,000
	計		5,979,049	計		6,926,177	計		7,686,000
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額 / うち臨時分
	08	報償費	90,000	08	報償費	90,000	08	報償費	90,000
	11	需用費	164,003	11	需用費	112,079	11	需用費	103,000
	12	役務費	6,000	12	役務費	56,400	12	役務費	57,000
	13	委託料	3,839,828	13	委託料	4,812,360	13	委託料	5,545,000
	14	使用料及び賃借料	1,873,968	14	使用料及び賃借料	1,855,338	14	使用料及び賃借料	1,875,000
	16	原材料費	0	16	原材料費	0	16	原材料費	16,000
	22	補償補填及び賠償金	5,250						
	決算額計		5,979,049	決算額計		6,926,177	予算現額計		7,686,000 / 0
（参考）	H24当初予算額		6,317,000	H25当初予算額		7,120,000	伸び率(%)	対・決 11.0	対・予 7.9 +
人件費	職員人件費	0.10 人工	806,000	職員人件費	0.10 人工	805,000	職員人件費	0.17 人工	1,311,000
総事業費	歳出+職員人件費		6,785,049	歳出+職員人件費		7,731,177	歳出+職員人件費		8,997,000

【特記事項】

○25年度主な支出
施設管理委託 4,785,900円
土地借上げ料 1,819,392円

【08報償費】
・謝金（清掃及び鍵管理）
【11需用費】
・消耗品費（管理用）
・光熱水費
【12役務費】
・手数料（浄化槽）
【13委託料】
・委託料（施設管理、浄化槽保守）
【14使用料賃借料】
・土地借上料他
【16原材料費】
・グランド用砂

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	30	30	30
				実績	30	30	
				目標			
				実績			
成果指標	施設に対する苦情数	人／年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績			
	施設の利用者数	人／年	施設の利用者数	目標	5,000	5,000	5,000
				実績	3,112	4,200	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】☐

◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】

○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた

○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

施設確認を計画的に行い、一括管理業者に指示及び協議を行ったため、芝生が生き返った。

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】☐

○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要

○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	施設の老朽化が目立ち計画的な修繕が必要。
次年度における対応方策（改善方策）	修繕箇所を確認し、計画的に修繕する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	施設の修繕計画を作成し、FMシステムと連動した施設の維持管理を行う。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	利用者がそれぞれの目的応じて、快適にスポーツに取り組んでもらえるよう、施設の更なる質的向上に努める。また、業者委託による体育施設の一括管理が上手く機能していくよう業者に対し適正な指導をする。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	効果的、効率的な修繕計画の策定に取り組んでください。		

※事務事業コード／ 0110050206

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 生涯学習課	事業年度期限	◉無 ○有 （平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目 100502体育施設管理費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3217
事業名	06第1常陸野公園管理運営事業						
目 的（成果）	幅広い年齢層にわたる利用者が、気軽に、公平に、安心して利用できる運営体制を図るとともに、施設を良好な機能で保持する為に維持管理等を図る。						
内 容（概要）	市民がスポーツを気軽に楽しめるよう、施設の利用予約システムの周知や登録を促すとともに、利用者が安心して施設を利用できるよう適正な施設の維持管理や施設周辺の環境整備を行う。						

■事業費

（単位：円）

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算	
事業内容	施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。		施設の維持管理運営業務(一括管理委託等)。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。		施設の維持管理運営業務（一括管理委託等）。 施設利用者の利便性の向上を図る為に、県内統一のオンライン予約受付システムにて予約の受付を実施。	
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
	県支出金		県支出金		県支出金	
	市債		市債		市債	
	その他		その他		その他	1,445,000
	一般財源	29,133,638	一般財源	25,231,279	一般財源	25,439,000
	計	29,133,638	計	25,231,279	計	26,884,000

歳出内訳

節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
11	需用費	6,641,448	11	需用費	6,142,223	11	需用費	7,172,000	
12	役務費	207,931	12	役務費	295,028	12	役務費	318,000	
13	委託料	13,590,024	13	委託料	15,666,456	13	委託料	16,323,000	
14	使用料及び賃借料	3,051,195	14	使用料及び賃借料	3,031,437	14	使用料及び賃借料	3,056,000	
15	工事請負費	5,565,000	16	原材料費	96,135	16	原材料費	15,000	
16	原材料費	12,500							
22	補償補填及び賠償金	65,540							
	決算額計	29,133,638		決算額計	25,231,279		予算現額計	26,884,000	0

（参考）	H24当初予算額	29,069,000	H25当初予算額	25,436,000	伸び率(%)	対・決	6.6	対・予	5.7	+
人件費	職員人件費 0.10 人工	806,000	職員人件費 0.10 人工	805,000	職員人件費 0.17 人工				1,311,000	
総事業費	歳出+職員人件費	29,939,638	歳出+職員人件費	26,036,279	歳出+職員人件費				28,195,000	

【特記事項】

○25年度主な支出
施設管理委託 12,369,000円
土地借上げ料 2,897,817円
プール監視・管理業務委託 2,559,900円

【11需用費】
・消耗品費（管理用）
・光熱水費
・修繕料
（24年度～プールボイラー、テニスコートネット修繕等）
（25年度～プールエアコン、テニスコートネット修繕等）
（26年度～バスケットライン、誘導灯、合併浄化槽等）
【役務費】
・電話料
・手数料（浄化槽、プール水質検査）
・保険料（スポーツトラクター保険料）
【委託料】
・委託料（施設管理委託、プール監視業務、浄化槽保守委託、電気工作物保守等）
【使用料賃借料】
・土地借上料等
【原材料費】
・テニスコート焼砂
（25年度～鉄パイプ等）

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	30	30	30
				実績	30	30	
				目標			
				実績			
成果指標	施設に対する苦情数	人／年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績			
	施設の利用者数	人／年	施設の利用者数	目標	30,000	30,000	30,000
				実績	23,699	28,665	

■事務事業の点検

必要性の点検

- ☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- ☐ 事業を休廃止した場合、市民生活（行政サービスの提供）に深刻な影響が発生する
- ☑ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある（ニーズを説明できる）

【必要性　Total判定】□
◉ A:高い（義務）　○ B:普通　○ C：低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

目標達成状況の点検

- ☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ☐ 「取り組み方針（改善方針）」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況　Total判定】
○ A:目標よりも大きな成果が得られた　◉ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

施設確認を計画的に行い、一括管理業者に指示及び協議を行ったため、芝生が生き返った。

実施内容・方法の点検

- ☑ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- ☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- ☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- ☐ コストを下げる工夫が考えられる
- ☑ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等　Total判定】□
○ A:見直す余地があり直ぐに実施　◉ B：見直す余地があるが時間が必要
○ C：見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

■課題と対応方策

課題	施設の老朽化が目立ち計画的な修繕が必要。
次年度における対応方策（改善方策）	修繕箇所を確認し、計画的に修繕する。
中長期的な視点での対応方策（改善方策）	施設の修繕計画を作成し、FMシステムと連動した施設の維持管理を行う。

■今後の方向性

一次評価　【課長評価】

評価者	生涯学習課長　中泉栄一	担当課名	生涯学習課
事業の方向性	○ このまま継続　◉ 改善して継続　○ 休廃止（　　年後を目処）　○ 終了		
事業費の方向性	○ 増額　◉ 現状維持　○ 減額		
次年度の取組方針（改善方針）	利用者がそれぞれの目的応じて、快適にスポーツに取り組んでもらえるよう、施設の更なる質的向上に努める。また、業者委託による体育施設の一括管理が上手く機能していくよう業者に対し適正な指導をする。		

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	☑ 確認		
	効果的、効率的な修繕計画の策定に取り組んでください。		